

昭和十六年十二月八日  
昭和十七年三月十日

昭和十六年三月十日  
昭和十七年四月二十四日

一部二年

(5)

7	二十年	二月	十一日	二十年	三月		二日	久米川	一部四年
8	二十年	三月	三日	二十年	四月		三日	久米川	一部四年
9	二十年	四月	九日	二十年	六月		八日	福光	一部五年
10	二十年	六月	九日	二十年	七月		五日	福光	一部五年
11	二十年	七月	六日	二十年	七月二十五日			福光	一部五年
12	二十年	七月二十六日		二十年	八月十六日			福光	一部五年
13	二十年	八月十七日		二十年	九月十九日			福光	一部五年
14	二十年	九月二十日		二十年	十月十一日			福光	一部五年
15	二十年	十月十二日		二十年	十一月三日			福光	一部五年
16	二十年	十一月四日		二十年	十二月十九日			福光	一部五年
17	二十年	十二月十九日		二十年	十二月三十一日			福光	一部五年
18	二十一年	一月一日	二十一年	三月十五日				福光	一部五年

(6)

国民学校に入学する年の一月からつけ始めた絵日記が六年間で三十八冊になった。幸い戦災に遭わなかったで、現在全部残っている。「学童疎開の記録」を残したいと考えたのは、この「絵日記」があったのがきっかけである。

学童集団疎開には初めから終わりまで参加していたので年表作りにも役立った。

紙の質が悪く、鉛筆で書かれた字も薄くなり、さわると破れてしまいそうに風化しつつあるが、この疎開生活のことは、戦争の一つの証言として風化しないよう残しておきたい。

昭和六十三年八月記す

前田 徳子